

交流のあゆみ

1968年（昭和43年）

- 12月9日 姉妹都市提携が成立。
明石-パレホ両市議会において、それぞれ
姉妹都市提携が可決される。
- 12月24日 フローレンス・E. ダグラス市長から“姉妹
都市提携証書”と記念の“金のカギ”が吉
川政雄市長に贈られる。



パレホ市議会議場でダグラス市長から金のカギを受けとる吉川市長

1969年（昭和44年）

- 6月16日 井上増吉公室長の引率で、ミス明石2名が
パレホ市を公式訪問、今後の交歓計画につ
いて話し合う。



ミス明石の訪問

- 8月22日 第1回学生親善派遣団として、池内三郎団
長（1）の引率で中学生8名がパレホ市を訪問。
- 9月1日
- 10月29日 明石市制50周年にあたり、パレホ姉妹都市
委員会委員長ジョン・P. ブキャナン氏夫妻
が明石市を公式
訪問され、11月
1日の記念式典
に出席、記念行
事にも参加。



市制50周年記念行事に参加のブキャナン氏夫妻

1970年（昭和45年）

- 5月11日 石井良 市議会議長を団長として、増本正治、
21日 穂原将雄、橘賢次各議員と、塩見事務局長
がパレホ市を訪問、ダグラス市長やブキャ
ナン姉妹都市委員会委員長らと歓談。
- 8月3日 第2回学生親善派遣団として、西沢晋司団
長（1）、衣笠和勇副団長の引率で、中・高校生
13日 12名がパレホ市を訪問、ホームステイを通
じ、親善を深める。



第2回学生親善派遣団

- 8月11日 パレホ市より、ゴードン・ダーリング氏を
19日 団長とする一行18名が来明、ホームステイ
で滞在し、各種団体や学生との交歓、また
万国博見学を楽しむ。
- 9月13日 パレホ市文化会館の落成にあたり、日本や
明石を紹介した図書、写真を寄贈。館内に
“明石コーナー”を設け展示される。
なお、10月3日の落成式には、鈴木靖子さ
んが招待を受け出席。また明石高校の西教
諭も参加される。
- 11月1日 明石市役所新庁舎落成式に際し、ダグラス
市長よりメッセージが届く。大阪アメリカ
文化センターのジョナサン・シルバーマン
氏が披露。

1971年（昭和46年）

- 2月22日 大観小学校がバレホ市ハイランド小学校と姉妹校提携を結ぶ。
- 3月1日 長寿院保育園の鶴岡信子さんがバレホ市を訪問、同保育園とバレホ市ステファンマノール小学校とが姉妹校提携を結ぶ。
- 7月6日 バレホ市からピーターズ氏一家4名が来明。市内福祉施設を見学。
- 7月22日
27日 バレホ姉妹都市委員会委員長ジョン・P. ブキャナン氏を団長とした親善使節団一行7名が来明、ホームステイで日本の生活を味わいながら市民との友好を深める。



やきものを楽しむ

- 8月4日
14日 第3回学生親善派遣団として池内高清団長、佐藤廣成副団長の引率で中・高校生12名がバレホ市を訪問、親善を深める。



第3回学生親善派遣団

- 8月14日 日本で開かれた世界ジャンボリー大会にバレホ市のボーイスカウト3名が参加。また市内のボーイスカウトとも交歓し、友好を深める。

- 9月23日 ダグラス市長から少年野球チーム松が丘バレオーズに対して、元大リーグ選手ジョー・ディマジオのサインボールが贈られる。
- 11月1日
11日 市議会議員 大西洋一、大森喜三夫、山田博之、菅雄一各氏と松村事務局長5名がバレホ市を訪問、衣笠哲市長のメッセージを託す。一行はバレホ市の各施設を視察、親善を深める。

1972年（昭和47年）

- 7月6日
9日 バレホ市よりジュリアス・S. ブラック氏夫妻が来明、市内福祉施設を見学。
- 7月25日
8月18日 姉妹都市委員会顧問の玉田義也氏を姉妹都市活動の現況と将来について、企画、調査のためバレホ市及び近郊都市に派遣。
- 8月10日
24日 市議会議員 広田正夫、宮川勇司、橋本鉄治各氏一行がバレホ市を訪問、親善を深める。
- 8月11日
20日 第4回学生親善派遣団として田口達郎団長、陶山昭副団長の引率で中・高生13名がバレホ市を訪問、ホームステイをしながら親善を深める。
- 8月24日
9月5日 バレホ市よりダグラス市長の公式訪問を受ける。各種団体と交歓、市内施設を見学。



ダグラス市長市内見学のひととき

1973年（昭和48年）

5TH ANNIVERSARY

4月18日
} 26日
ゴードン・ダーリング氏を団長とする学生親善使節団一行17名の公式訪問を受け、各種団体と交歓、市内見学、ホームステイを通じ親善を深める。

7月24日
} 8月4日
衣笠哲市長を団長とする親善使節団（柏木保、住野勝美、大那隆史、水田孝、永井登志子、四つ橋かつゑ、玉田義也、増田綱夫の各氏）がバレホ市を公式訪問。各種団体の歓迎を受け、ホームステイを通じ親善を深める。



親善使節団一行

8月19日 バレホ市より英語教師トービィー・L. ヘンリクスン先生来明。

9月3日
} (74年3月20日)
ヘンリクスン先生、市内8中学校で訪問教師として英語指導にあたる。

9月6日 ヘンリクスン先生の娘ケティーさん来明。明石高校の聴講生として、日本の授業に参加。
(1974年3月29日帰国)

10月22日
} 23日
バレホ市総合病院長ロバート・S. ブラム氏及びバレホ市ガール・スカウトのリーダー、オリビア・A. ランゾーン氏が来明。

12月9日 姉妹都市提携日にあわせ“明石-バレホ姉妹都市提携5周年記念の集い”を開催。

1974年（昭和49年）

1月25日
} 2月10日
明石高校の陶山昭教諭が兵庫県公立学校教員海外研修プログラムアメリカ短期大学制度の研究・調査で訪米、途中バレホ市を訪問。

3月20日 早稲田大学国際学部留学生のバレホ市民パット・マッカーートさん来明。

3月31日 英語教師ジョン・P. ブキャナン先生来明。

4月4日 ヘンリクスン先生、ブキャナン先生の歓迎会を開催。120名が参加。ヘンリクスン先生の功績をたたえ感謝状を贈呈。

4月15日
} 6月26日
ブキャナン先生、市内3中学校で訪問教師として英語指導にあたる。

4月18日 バレホ市より“友情のベンチ”届く。市立図書館にて利用。

4月23日 バレホ市より小学生の作品デコレーションが明石小学校へ届く。明石愛老園に飾る。

6月20日
} 28日
ダグラス市長を団長とする高校野球チーム一行41名が来明、市内4高校と親善試合の他、各種歓迎行事を通じ、友好親善を深める。



高校野球親善試合

7月2日 明石セントラルライオンズクラブ萬谷健二氏が国際ライオンズクラブ大会で訪米、途中バレホ市を訪問。

7月5日 青年会議所の福山伸治氏、小谷泰郎氏がバレホ市を訪問。

7月27日 ブキャナン先生歓送会を開催、功績をたたえ感謝状を贈呈。



ブキャナン先生歓送会

8月18日 バレホ市よりエレン氏夫妻来明。ホームステイで親善を深める。

8月28日 英語教師アニタ・O. ライデン先生来明。

9月2日 ライデン先生、市内5中学校で訪問教師として英語指導にあたる。
(75年3月20日)



ライデン先生授業風景

10月20日 E.S.S主権高校英語弁論大会にライデン先生が審査委員長として参加。

10月27日 バレホ市高校野球チーム来明時の交歓風景を毎日テレビが全国ネットで放映。“姉妹都市物語「バレホー明石」”

1975年（昭和50年）

3月4日 ダグラス市長4選の電報届く。衣笠哲市長より祝電を打つ。

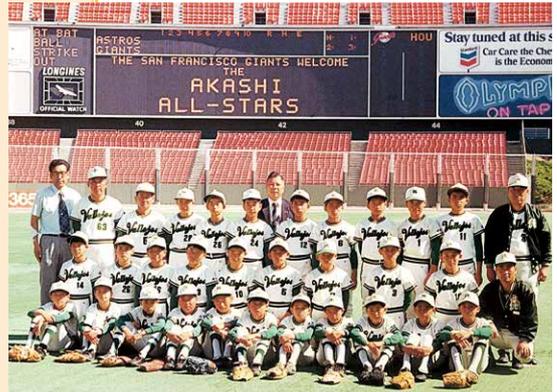
4月14日 ライデン先生、市内3中学校で訪問教師として英語指導にあたる。
6月27日

6月2日 バレホ市よりエドモンド・フェルナンデス氏夫妻来明、市内を見学し親善を深める。

6月28日 ライデン先生歓送会を開催、功績をたたえ感謝状を贈呈。

7月25日 少年野球チーム松が丘バレオーズ親善使節団

8月7日 一行34名がバレホ市を訪問、ホームステイを通じ友好を深める。



少年野球チーム“松が丘バレオーズ”バレホ市訪問

8月9日 姉妹都市国際会議において明石市が表彰を受け、バレホ市を通じて表彰盾が贈られる。

1976年（昭和51年）

6月3日 バレホ市より、ゴーリーひろ子・立石氏来明、市内見学及び関係者による歓迎会を開催。

7月1日 アメリカ合衆国建国200年記念姉妹都市親善使節団一行14名（団長 尾上直二氏）が11日 バレホ市を親善訪問し、各種記念行事に参加、友好を深める。



建国200年祭に参加

7月18日 バレホ市よりフローレンス・ピーターソン氏来明。市内見学及び関係者による歓迎会を開催。

10月14日 バレホ市よりヘレン・マーシャンド一家来明、市内施設見学、近郊見学、関係者による歓迎会等ホームステイをしながら親善を深める。

1977年（昭和52年）

7月24日 } バレホ市庁舎落成記念親善訪問団一行12名
8月4日 } (団長 衣笠哲市長) がバレホ市を親善訪問し、姉妹都市ルームに記念アルバムと明石市街地航空写真を贈呈。



歓迎をうける使節団一行

8月17日 神戸YMCA交歓学生2名（カリフォルニア州在住）が衣笠哲市長を表敬訪問。

11月23日 少年野球チーム松が丘バレオーズの設立10周年記念式を開催。

12月12日 元英語教師（1974年）ジョン・P. ブキャナン先生の夫人へ衣笠哲市長から手術見舞のメッセージと花束を送る。

1978年（昭和53年）

10TH ANNIVERSARY

8月1日 姉妹都市提携10周年を記念して、明石姉妹都市協会（萬谷健二会長）が発足。

8月12日 } ダグラス市長を団長とする少年野球チーム
18日 } 一行55名の公式訪問を受け、明石リトルリ

ーグOBチーム、松が丘バレオーズと親善試合、記念植樹他各種歓迎行事を実施し、都市提携10年の友好親善を図る。



ホームステイ家庭との対面風景



少年野球チーム

12月9日 姉妹都市提携日にあわせ“姉妹都市提携10周年の集い”を開催（市役所8階）。国際電話でダグラス市長－衣笠哲市長、ジュール・ロンガン バレホ姉妹都市協会会長－萬谷健二明石姉妹都市協会会長他が喜びの交信をかわす。



姉妹都市提携10周年の集い

また、トーマス・E. エインズワス米国大阪・神戸地区総領事夫妻をお迎えし、ティーパーティを開催、ホームステイ受け入れ家庭等の功労者、バレホ市側功労者に対して感謝状を贈呈。



バレホ市の功労者への感謝状



記念たて

12月30日 バレホ市側功労者に対する感謝状、記念メダルを高速コンテナ船榛名丸（日本郵船kkの協力を得た）に託してバレホ市へ届ける。

1979年（昭和54年）

12月18日 バレホ市民ロバート・S. プラム氏および姪
19日 のスーザンさん来明。

12月22日 国際児童年を記念して、明石姉妹都市協会
29日 主催による児童親善使節団一行31名（団長米澤淑介氏）がバレホ市を親善訪問。



児童親善使節団の一行

1980年（昭和55年）

4月1日 バレホ市民チェスター・プリンプス氏、日
2日 本旅行の途中に来明。

4月6日 バレホ姉妹都市委員会委員キョウコ・ウエ
8日 ハラ氏と息子が日本旅行の途中に来明。

7月5日 バレホ姉妹都市協会会長レイモンド・ベル氏
13日 夫妻および副会長レス・シェリー氏夫妻、
子供2人が民間親善使節団として来日。

7月7日 国際交流資料室を市役所7階に開設。



国際交流資料室オープン

10月31日 バレホ市民ドナルド・ホブキンス氏夫妻、
11月1日 日本旅行の途中に来明。

1981年（昭和56年）

7月26日 小川剛氏を団長とする明石市派遣親善文化
8月2日 使節団一行32名がバレホ市を訪れ、現地で
いけばな展を開催し、文化交流を深める。



いけばな、バレホへ